



2ヶ月前

1ヶ月前

1週間前までに

いそいそ出発!!

北海道に
到着!!



第4章. こんな時はどうするの?

- 4-1.もしも、交通事故や違反のトラブルが起きたら..... 40
- 4-2.もしも、ケガや病気のトラブルが発生したら..... 41
- 4-3.もしも、天気によるトラブルに見舞われたら..... 42
- 4-4.もしも、車が故障したら..... 43
- 4-5.もしも、野生動物にぶつかったら..... 44

楽しい旅行に行くのに、自分がトラブルに遭遇するなんてとても考え付かないだろう。とは言っても、それが一番の心配ごとでもある。もしものときの対処法を知ってさえおけば、不安も解消し、いざというときに慌てずに行動できる。

日本語がわからない。どうしたらいいの？ →P.46参照

まずは現場にいる日本人に助けを求めよう。どんな日本人でも、警察や消防署に現場の状況を伝えることはできるはずだ。もし、近くに人がいない場合は電話で「状況」と「場所」を伝えることだ。場所は冷静にカーナビの画面で確認してみることに。

事故に遭ってしまったら？

自分が大けがをするような大事故に遭ったら、誰かの助けを待つほかない。自分が他の車にぶつかけたり、他人にケガをさせたりした場合が問題だ。落ち着いて対応することが重要だ。まずは、二次災害が起きないように対応することがポイント。以下の手順は頭に入れておこう。

【交通事故時の行動】

- ①安全確保
後続の交通の邪魔にならないように車を移動、けが人を安全な場所へ移動させる等、周りを良く見て判断しよう
- ②救急車を呼ぶ
電話番号119
けが人がいる場合は救急車を呼ぼう。待っている間は止血等の応急処置が必要だ。
- ③警察の指示に従う
電話番号110
警察に連絡し事故の状況を細かく伝える。後の補償のためにも事故証明が必要になるから必ず連絡すること。
- ④レンタカー会社へ連絡
あとはレンタカー会社に連絡をしてその指示に従うこと。保険会社への連絡や車の移動方法等はすべてレンタカー会社が手配してくれる。

軽い事故でも必ず報告

自損事故を起こした場合、たとえ車が走行可能でも、警察に届ける必要があり、必ずレンタカー会社に報告すること。

その場での示談には応じない

軽い接触事故などでは相手がお金で解決を求めてくることもあるが、ルールを知らない方が不利になるので、キッパリ断ってレンタカー会社の指示に従うのが安全だ。

110番や119番への連絡時に電話で伝えること

⇒P.46の「いざという時のための指差し会話集」を参照
「交通事故でけが人が〇〇人います。
場所は〇〇〇〇、私の名前は〇〇〇〇です。
連絡先は(電話番号、携帯電話の番号)です。」

相手を必ず特定しておく

相手には自分の情報を伝え、相手の情報も聞き出しておいた方がいい。カメラがあれば現場の写真も撮っておくと良い。
●自分と相手の名前・住所・電話番号 ●自分と相手の免許証番号



ワンポイントアドバイス

高速道路では「非常電話」を使おう！

高速道路での事故や故障時は、路肩に停車し、後続車にハザードランプや停止表示板で合図し、安全を確保して道路管理者に連絡する。携帯電話ではなく、「非常電話」を使うとレスキューに自動的に居場所が伝わる。「非常電話」は1kmごとに設置されているから前方か後方500m以内に見つけられる。

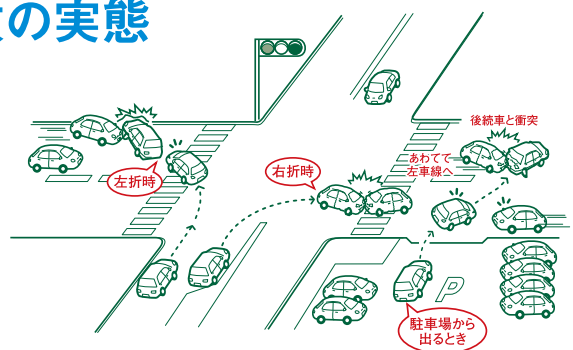


外国人のレンタカー利用時の事故の実態

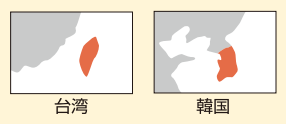
【慣れが危ない！ 旅行の前半より後半】

●右左折後に反対車線に入り接触事故(通行車線の違い。)

反対車線に入り、あわてて対向車や後続車と接触



自国自地域との違いに注意！



接触事故No1は駐車場での後方確認不足

駐車場では車同士が隙間なく駐車されているのと、場内が暗く見通しが悪い場合が多い。さらに、「慣れない車」のせいで車幅間隔に多少狂いがあるからだろう。事故原因では後方確認不足が一番多い。車の先頭部から突っ込んで停めると、どうしても後進からの出発になる。この場合は死角が多く接触に繋がる恐れが高い。なるべく、停める時はゆっくり後進で入れて、出るときは正面から出発すると視界良好で出発できる。



軽微な事故でも警察に届ける！

せっかく保険に入っているけど万が一の事故の時に警察に連絡しなければ、保険は適用されない。全額あなたの負担になってしまう。ちょっとした接触事故でも必ず警察に届けるのがルールだ。

ドライブ中のケガや急病のときはどうする？

旅行中にケガをしたり、具合が悪くなったりした場合は、その時間や場所、そして症状により対応が変わってくる。

症状を確認

冷静に症状を確認し、その上で対処方法を考える。
※持病がある人は旅行出発前に必ず掛かりつけのドクターに相談を。

病院で診察を

旅行は無理せず中断し、最寄の病院を確認して行くこと。日本の病院は基本的には平日診療が基本。



病院が休業日や閉院時間帯の場合

救急センターまたは、当番医へ

日本では閉院時間以外の時間帯については、地域の救急医療施設(救急センター等)または当番医が指定されている。まずは周辺の日本人に問い合わせると適切な病院を教えてください。観光案内所やお店の方に尋ねてみるのも安心。

重要

119番通報

大ケガや急病等が発生した際は、119番をダイヤルすると救急車を呼べる。現在地や症状等を聞かれるので、周辺の日本人に助けを求めよう。



ワンポイント
アドバイス

医療情報は地元の人に聞くのが一番!

医療情報は地元の生活に密着した情報だ。もし体調が悪いときは、臆せずに地元の人に尋ねてみよう。筆談や身振り手振りでも「病院に行きたい」ということは伝わるはずだ。

病院で症状を伝えるためにはP46の「いざという時のための指差し会話集」を参照。



ワンポイント
アドバイス

総務省消防庁「救急車利用マニュアル」(言語:日、英、中(簡)、韓)
http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/



診察料の支払いは？

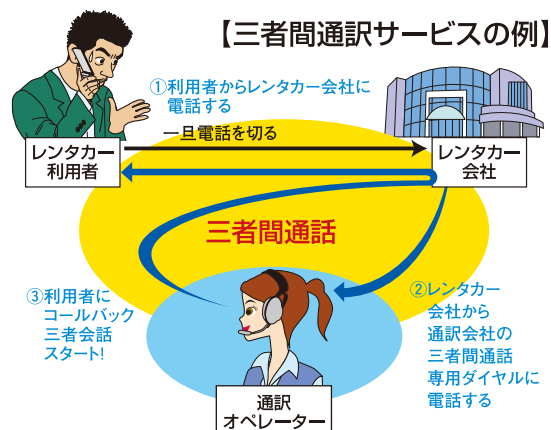
日本人以外の人は日本の健康保険が適用されないのかかった医療費全額そのまま請求される。症状や処置や投薬量などによるが〇万円単位の出費を覚悟したほうがよいかも。病院ではまだクレジットカードを対応しているところはほとんどないので現金で支払うしかない。海外旅行傷害保険などに加入している場合は保険会社に還付請求できるはずなので、病院に保険金請求フォームへの記入を依頼したり、または、診断書を発行してもらおう。診療費を支払ったレシートは大切に保管しておこう。



三者間通訳コールサービスもある!

大手レンタカー会社では、三者間通訳コールサービスを提供している会社もある!通訳オペレーターによる三者での同時会話サービスの仕組みだ。

- ①利用者からレンタカー会社へ電話する。一旦電話を切る。
- ↓
- ②レンタカー会社から通訳会社の三者間通訳専用ダイヤルに電話する
- ↓
- ③利用者にコールバック!三者間会話スタート。



ワンポイント
アドバイス

日本に来る前に携帯電話を準備しておこう!

日本も携帯電話の普及につれて公衆電話が減っている。いざという時のためにも通信手段である「携帯電話」は持ち歩こう。

出発前に、自分の携帯電話で国際ローミングサービスが使える設定になっているか携帯会社に確認してみよう。もし、自分の携帯が使えない場合は空港などで携帯電話をレンタルすることもできる。



重要 運転中の携帯電話の使用は厳禁!



もし、大雨や大雪で通行止めになったらどうする？

万が一、道路が通行止めになった場合は情報を集めることが重要だ。インフォメーションは日本語での表記や案内しかない場合がある。周りの日本人に助けてもらおうのがいいだろう。

1

【情報を集めよう】

まずは、①気象情報、②道路情報、③公共交通機関の情報を集めよう。とくに旅行の最終日などは、飛行機の時間があるはず。どうにか時間までに移動できる交通手段がないか確認する。

2

【代替交通機関で移動しよう】

通行止め解除や気象好転も望めないようならば、代替移動手段を考えよう。もし、公共交通機関が利用可能ならば、レンタカーは最寄のオフィスに返却して、鉄道や飛行機などの公共交通機関に乗り換えよう。まずは予約や切符を確保することだ。

3

【必要な箇所に連絡すること】

最寄オフィスに返却する場合は、レンタカー会社に連絡する。帰国予定の航空会社には、現在の状況、空港到着予定時刻や遅れる旨あらかじめ連絡しておく。また、帰国便に間に合わないようならば予約の変更を相談しよう。旅行中ならば、その日の宿泊先などにも状況報告を忘れずに。

北海道で交通機関に重大な影響を与える悪天候は大きく2つある。

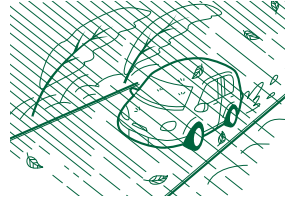
【暴風雪】

12月～3月までの冬期に季節風の強い「西高東低」の冬型の気圧配置になるとき、風が強く吹雪くことが多い。こんなときは要注意である。



【台風】

台風はあまり多くはないが最近では少しずつ増えている。8月～9月、大雨と強風が吹き荒れることがある。大雨時は土砂災害などがあるので道路情報にも要注意だ。



※その他・・・局地的な大雪や大雨は北海道全域で稀にありえる。こんなときも交通機関がマヒするので注意が必要

天気予報で暴風雪や台風の予報があった場合は、交通状況に影響が出る。まずは、すぐに道路情報などを確認しよう

なるほど！ 道の駅を活用しよう

道の駅には道路情報を提供している情報端末がある。インターネットHPが見れなくてもここでチェックすることができるぞ。



道路情報や峠の状況はどうやって知ることができるの？

北海道には、大きな山並みを越えるとき「峠」があるが、峠は標高も高いため平地の気象とはまったく違う。急な気象変化もあるので、常に十分な情報を収集しておこう。また、走行予定の主な峠の名前は必ず覚えておくこと。降雪や強風などの情報は冬道運転には必須情報、これも出発前には必ず確認しておきたい。場合によってはルート変更や予定変更も考えよう。

- ①気象情報は右記のインターネットHPでは英語版を提供している。

気象庁
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
(日、英)



- ②道路情報や峠の情報は右記のインターネットHPで提供されている。

峠の気象情報や道路状況は以下のインターネットHPでは外国語版で提供されている
北の道ナビ
<http://northern-road.jp/navi/>
(日、英、中(繁・簡)、韓)



通行止め等の最新情報を得るには以下のインターネットHPが有効だ
北海道開発局
北海道地区道路情報
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm> (日、英)



- ③公共交通機関の運行状況は右記のインターネットHPで提供されている。

新千歳空港の発着便の運行状況が提供されている。
新千歳空港ターミナルビル
<http://www.new-chitose-airport.jp/ja/>
(日、英、中(繁・簡)、韓)

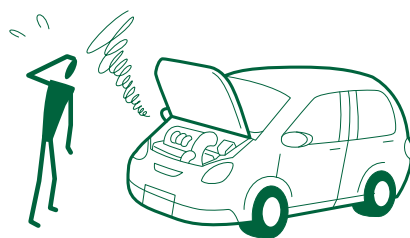


列車運行状況は日本語のみが見出しだけでも理解できれば役に立つぞ。
JR北海道
<http://www.jr-hokkaido.co.jp/>
(日、英、中(繁・簡)、韓)



車の故障や対処法

バッテリー上がり、鍵の閉じ込み、溝への落輪など自動車に関わるさまざまなトラブルに見舞われることがある。まずはレンタカー会社に連絡することが先決だが、当然無料ではないので、救急対応サービスにはお金がかかってしまう。



いざという時の不安を解消してくれるサービスはありませんか？

■大手レンタカー会社の料金プラン

「安心コース」等、ロードサービスや道路情報サービス等を付帯しているプランもあるので、ぜひ活用したい。

ある会社のプラン例

①路上トラブル 安心サービス

(4つの無料ロードサービス)

- パンク時のスペアタイヤ交換
- ガス欠時の補給
- バッテリー上がり時の再始動
- キー閉じ込み時の開錠

+

②お困りの際の 電話案内サービス

- 代替交通手段のご案内
- 宿泊案内
- JAFへの転送
- ガソリンスタンド案内
- 道路案内など

+

③返車時間超過安心 サービス

+

④中途解約安心サービス

+

⑤保険の補償内容の拡大

■(一社)日本自動車連盟(JAF)に相談

(一社)日本自動車連盟(JAF)は年中無休・24時間・全国ネットでロードサービスを提供している。「バッテリー上がり」や「キー閉じこみ」などの際、JAF会員ならば料金は無料で駆けつける。また、非会員にも有料でサービスを提供している。



JAF

JAFロードサービス救援コール

0570-00-8139 (ナビダイヤル) / 通話料は有料(固定電話は1分/10円、
携帯電話20秒/10円)
または、短縮ダイヤル #8139 <通話料は有料>

左記電話番号がご利用になれない場合

北海道コールセンター
011-857-8139

なるほど！ 自動車クラブの会員証は 忘れずに持参しよう！

国際自動車連盟(FIA)のグローバル・サービスに参加している自動車クラブの会員はこのJAFのロードサービスをJAF会員と同等の条件で受けられる。香港自動車協会(HKAA)、シンガポール自動車協会(AAS)の会員の人は会員証を忘れずに持参しよう。

■国際自動車連盟(FIA)のグローバル・サービス

FIAに加盟している各国・地域の自動車クラブでは、相互の会員に対してサービスを提供する「グローバル・サービス」を実施しており、世界80カ国以上のFIA傘下自動車クラブで、そのクラブの会員に準じたサービスが提供される。

※台湾や韓国についてはFIAに加盟しているものの、「グローバル・サービス」自体に不参加なので日本でのサービスは原則として受けられない



香港特别行政区
(HONG KONG)

〔クラブ名:香港自動車協会〕
Hong Kong Automobile Association
(HKAA)

Tel: (+852) 3583 3638
Internet: <http://www.hkaa.com.hk/en/>
E-mail: general@hkaa.com.hk



シンガポール
(SINGAPORE)

〔クラブ名:シンガポール自動車協会〕
Automobile Association of Singapore
(AAS)

Tel: (+65) 6333 8811
Internet: <http://www.aas.com.sg/>
E-mail: aasmail@aas.com.sg



ワンポイント
アドバイス

運転免許証翻訳文(台湾)を忘れたら…

翻訳文は(一社)日本自動車連盟(JAF)北海道内の各支部(札幌・函館・旭川・釧路・帯広・北見)で発行を行っている。※詳しくはHP参照 <http://www.jaf.or.jp/> (日・英)

折角の旅先で無駄な時間を使わないためにも台湾の監理所で翻訳文を発行してから出発しよう!

